



キックオフシンポジウム

地域で育む保育の未来

～保育現場から広げる質向上～

開催結果

ASAHIKAWA CITY

保育の質の向上ネットワーク形成キックオフシンポジウム 概要



目的

保育の質向上に向けて中核的機能の意義や役割を関係者間で共有し、今後の連携体制の構築に繋げることを目的とする。また、シンポジウムを通じて保育の質に関する最新の知見を学び、課題や可能性について共通認識を深め、得られた提案を次年度以降の連携体制や研修プログラムに反映させるとともに、地域全体で保育の質向上を目指す「旭川モデル」の確立に向けた機運を高める。

概要

1. テーマ
地域で育む保育の未来 ～保育現場から広げる質向上～
2. 日時
令和8年2月4日（水）14時00分～16時00分
3. 会場
旭川市市民活動交流センターCoCoDe（旭川市宮前1条3丁目3-30）
4. 次第・登壇者
右記のとおり
5. 対象者
保育従事者（保育・幼稚園経営者、保育・幼稚園長、保育者リーダー、保育士、幼稚園教諭、ベビーシッター）、自治体・保育行政担当者、保育士・幼稚園教諭養成校関係者

旭川市市民活動交流センターCoCoDe
保育の質の向上ネットワーク形成
キックオフシンポジウム
地域で育む保育の未来
～保育現場から広げる質向上～

日時
2026.2.4(水)
14:00～16:00 (開場 13:30)

会場
旭川市市民活動交流センターCoCoDe ホール
(旭川市宮前1条3丁目3-30)

対象
●保育従事者
保育・幼稚園経営者、保育・幼稚園長、
保育者リーダー、保育士、幼稚園教諭、ベビーシッター
●自治体・保育行政担当者
●保育士・幼稚園教諭養成校関係者(学生含む)

プログラム
14:00 開会
主催者挨拶
14:10-15:00 基調講演
「保育の質とCo-Agency～地域が変わる子育て～」
講演者 東京家政大学 教授 堀 科 氏
15:00-15:10 休憩
15:10-15:50 パネルディスカッション「地域で育む保育の未来」
モデレーター 北海道教育大学 教授 片桐 正敏 氏
パネリスト 東京家政大学 教授 堀 科 氏
旭川市立大学 教授 榎名 澄子 氏
エルども園 園長 岩崎 安貴子氏
めいばう幼稚園 園長 山本 健太 氏
16:00 閉会

申込方法
右記二次元コードより申し込み下さい
申込期限 1月28日(水)
※ご参加にはお申し込みが必須です。
※この二次元コードは参加登録ツールへの入力が必要となります。
※お申し込みいただいた個人情報は、当日の参加確認にのみ使用させていただきます。他の目的には使用いたしません。
※お申し込みは定員に限りがあります。満員になりましたら、ご了承ください。

お問い合わせ
旭川市子育て支援部こども保育課
☎ 0166-25-9844
✉ ahc@city.asahikawa.lg.jp

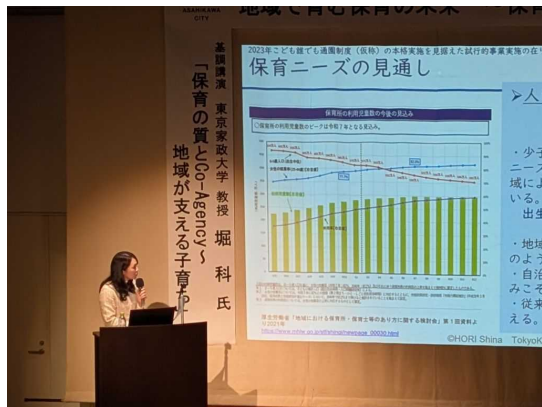
主催
旭川市市民活動交流センターCoCoDe

保育の質の向上ネットワーク形成キックオフシンポジウムの様子

実施結果

参加者数：116名（保育所・認定こども園64名、幼稚園7名、その他45名）

アンケート回答者数：16名（回答率約14%）



東京家政大学教授堀科先生による基調講演では、保育の質とCo-Agencyとしてこれからの保育施設に期待されることなどについて講演していただいた。



パネルディスカッションでは、保育に関わる様々な立場のパネリストによる保育の質や地域保育の課題などについて議論された。



100名を超える保育関係者が参加し今後の地域の保育について考えるシンポジウムとなった。

キックオフシンポジウム



参加者 アンケート結果

設問数 : 9~10問

形式 : 選択式+自由記述

所要時間 : 2~3分

16名

回答者数

75%

総合満足度
(満足以上)

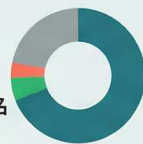
81%

理解向上度
(深まった以上)

キックオフシンポジウム アンケート結果

地域で育む保育の質向上に向けて

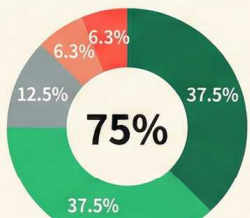
16名 回答者数



保育・幼稚園職員: 9名 行政職員: 1名
教育・研究関係: 1名 その他: 5名

- ✓ 関係者の変化
- ✓ 中核機能の有効性
- ✓ 次年度への示唆

Q1. シンポジウム全体の満足度

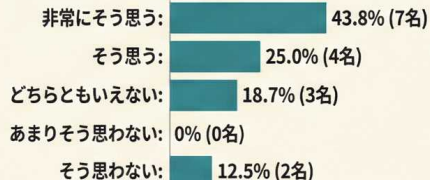


満足度(12/16名)

- ✓ 非常に満足した: 6名(37.5%)
- ✓ 満足した: 6名(37.5%)
- ✓ どちらともいえない: 2名(12.5%)
- ✓ あまり満足できなかった: 1名(6.3%)
- ✓ 満足できなかった: 1名(6.3%)

大変よい勉強の機会になりました。

Q2. パネルディスカッション – 視点の深まり

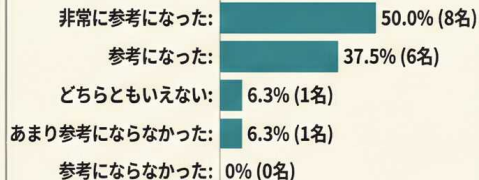


68.8%

肯定的評価(11/16名)

もっと活発な意見交換が欲しかった。

Q3. 基調講演の参考度

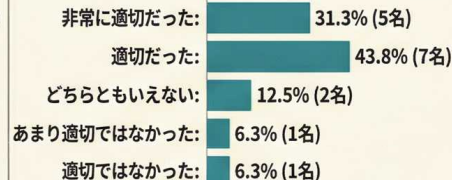


87.5%

参考になった(14/16名)

堀先生の話は非常にわかりやすく大変貴重な学びとなった。

Q4. テーマ設定・進め方の適切さ

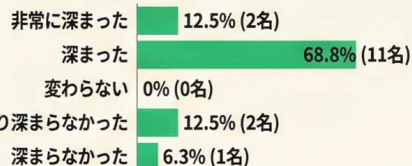


75.1%

適切(12/16名)

時間が短かった。もう少し時間を確保してほしい。

Q5. 地域保育の理解度変化

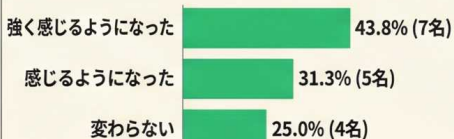


81.3%

理解が深まった(13/16名)

「目の前にいる子どもにとってどうなのか」そうシンプルに考えればいい。

Q6. 連携の重要性への意識

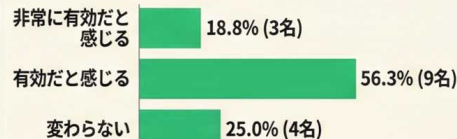


75.1%

重要性を実感(12/16名)

保育現場と養成校の課題を具体的に聞けて良かった。

Q7. 中核機能の有効性への認識

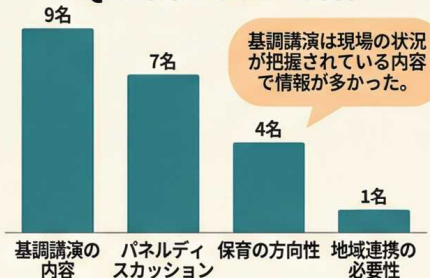


75.1%

有効性を実感(12/16名)

旭川市でチャレンジできたら良い。

Q8. 印象に残った内容



基調講演は現場の状況が把握されている内容で情報が多かった。

✓ 満足度 75% ✓ 参考度 87.5% ✓ 理解度向上 81.3%

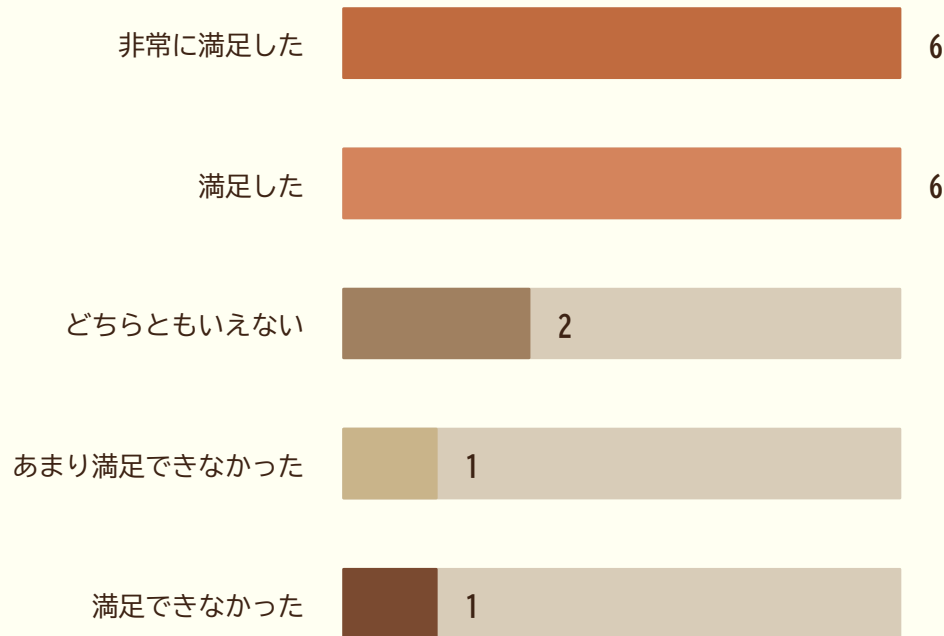
主な成果：
・高評価を獲得
・理解の深化
・連携の重要性認識

改善点：
・ディスカッションの深化
・時間配分の見直し
・幅広い関係者の参加

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q1. 本日のシンポジウム全体について、どの程度満足されましたか



満足以上

75.0%

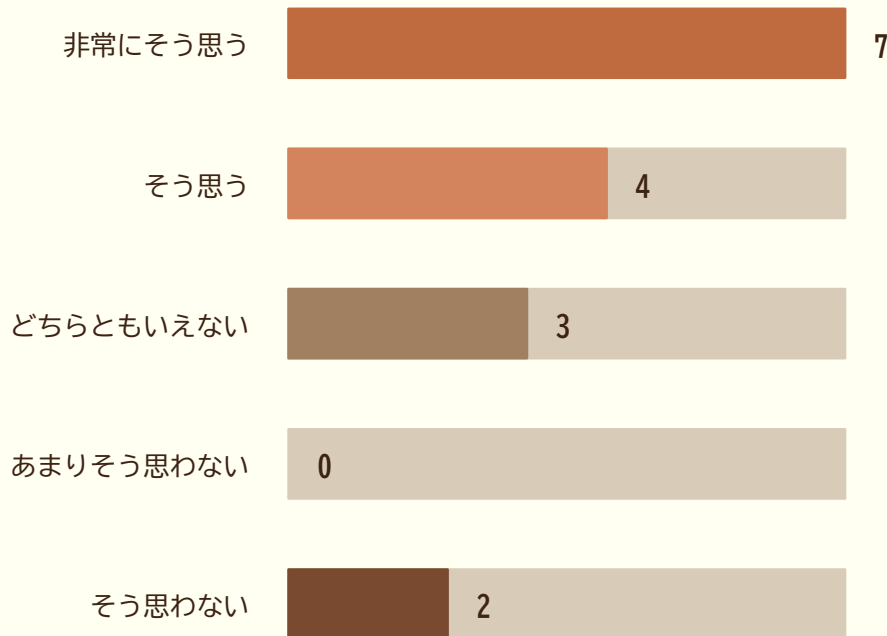
(16名中 12名)

ポジティブ反応が過半数を占め
イベント運営として一定の評価を得た。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q2. パネルディスカッションは、現場や地域の視点を深める内容でしたか



肯定的評価

68.8%

(16名中 11名)

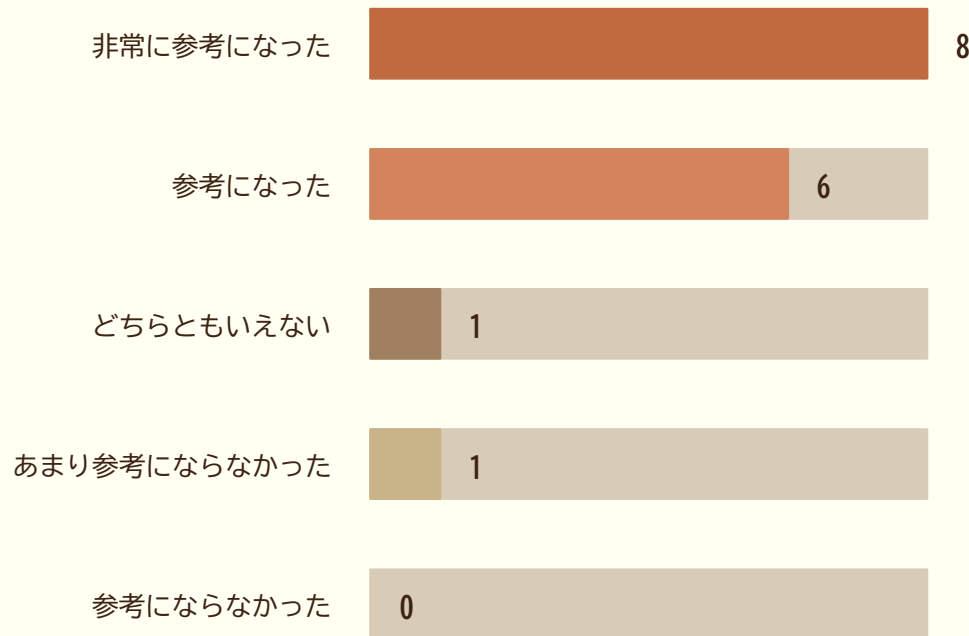
「そう思わない」が2名おり
活発な意見交換を求める声もあった。

n=16

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q3. 基調講演の内容は、今後の保育や地域の取組を考えるうえで参考になりましたか



参考になった以上

87.5%

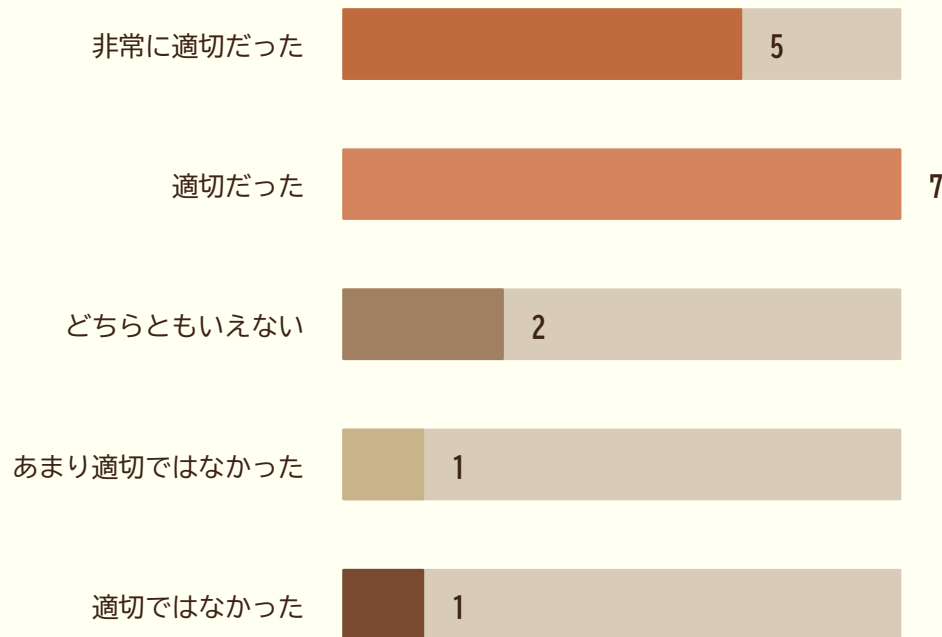
(16名中 14名)

全項目中で最も高い肯定率。
基調講演が特に好評だった。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q4. パネルディスカッションのテーマ設定や議論の進め方は適切でしたか



適切以上

75.1%

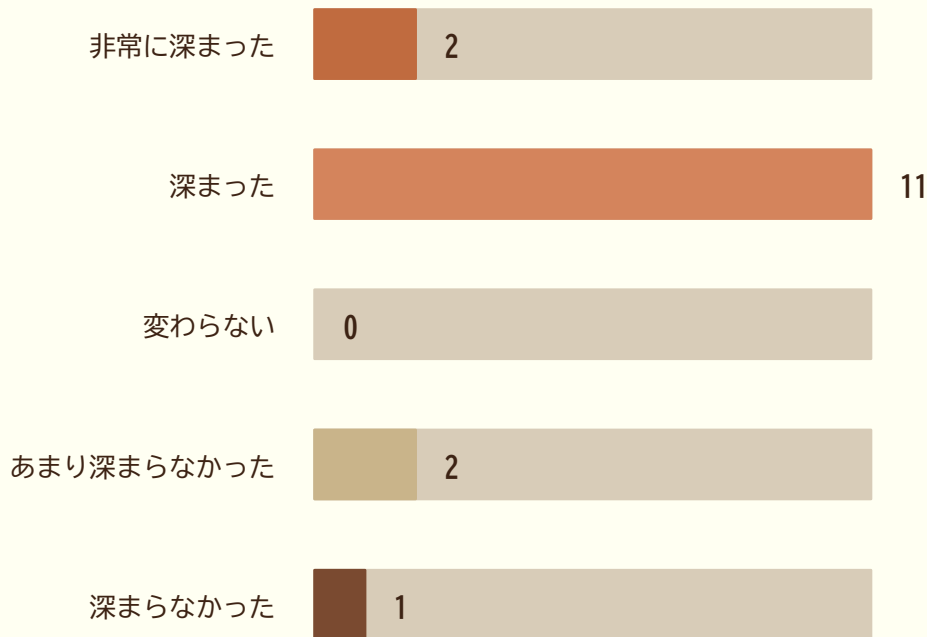
(16名中 12名)

概ね好評だが一部から
議論の深化を求める声があった。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q5. 地域における保育の考え方や方向性について、ご自身の理解はどのように変化しましたか



理解が深まった以上

81.3%

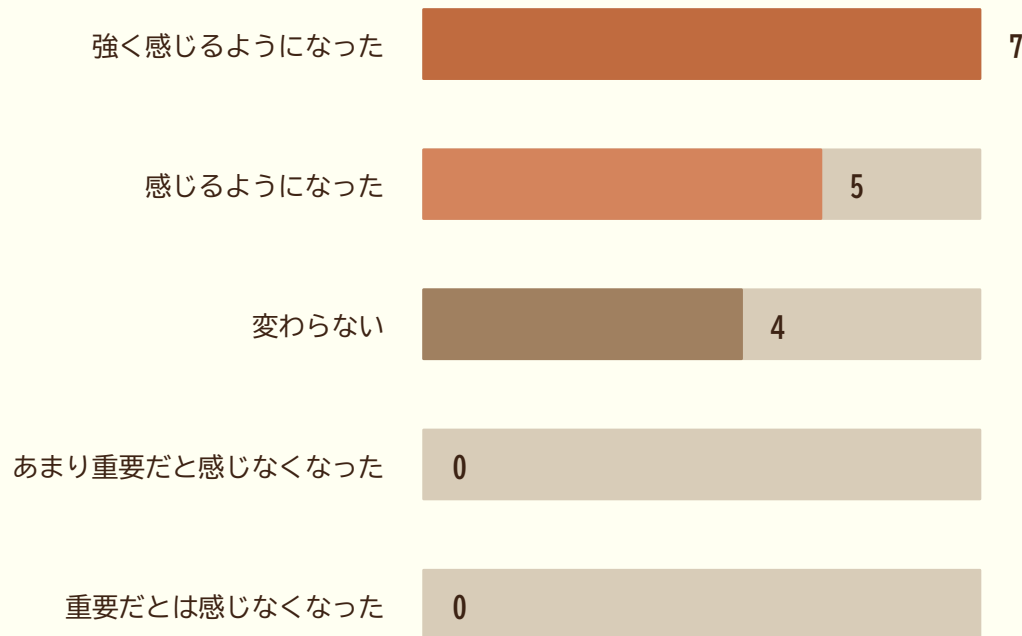
(16名中 13名)

「深まった」が最多(11名)。
参加者の意識変化に高い効果。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q6. 地域や関係者が連携して保育を支えることの重要性について、参加前と比べてどのよう
に感じましたか



連携重要性を感じた

75.1%

(16名中 12名)

否定的回答は0名。
連携意識の醸成に明確な効果あり。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q7. 本事業で目指す「中核機能」について、参加前と比べてどのように感じましたか

非常に有効だと感じるようになった

3

有効だと感じるようになった

9

変わらない

4

あまり有効だと思わなくなった

0

有効だとは思わなくなった

0

有効と感じた以上

75.1%

(16名中 12名)

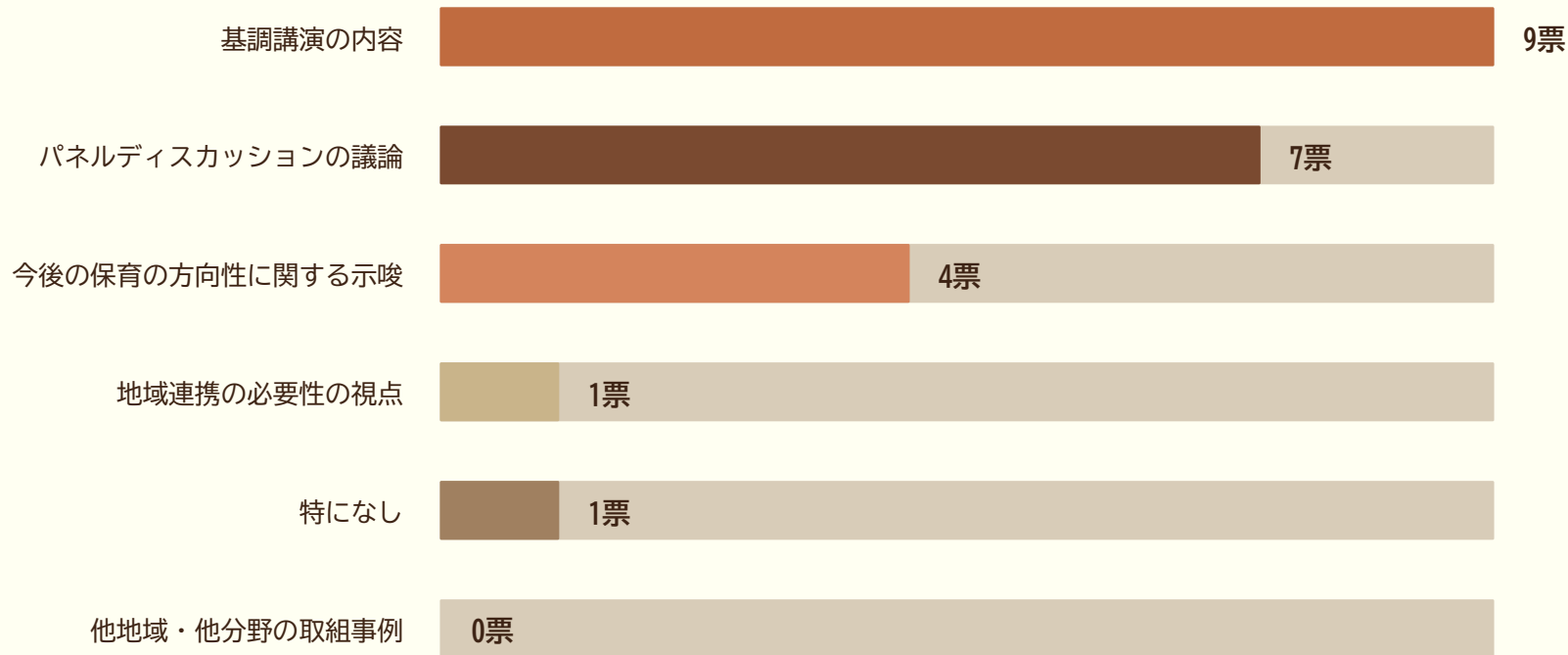
否定的回答は0名。
中核機能への共感が高まった。

n=16

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



Q8. 特に印象に残った点はどれですか（複数選択可）



※複数選択のため合計は回答者数を超える場合があります n=16

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



本日の内容を踏まえて、感じたことや今後に期待すること（自由記述）

◎ 基調講演への高評価

堀先生のお話が非常にわかりやすく貴重な学びとなったとの声が複数。

◎ 意識変化・行動意向

「目の前の子どもにとってどうか」という視点の再発見。保育を省みる契機に。

△ パネルへの要望

テーマに沿った発言・活発な意見交換を望む声。議論の深化を期待。

◎ 関係者拡大への期待

教育委員会・小学校など多様な関係者を加えた議論を求める意見あり。

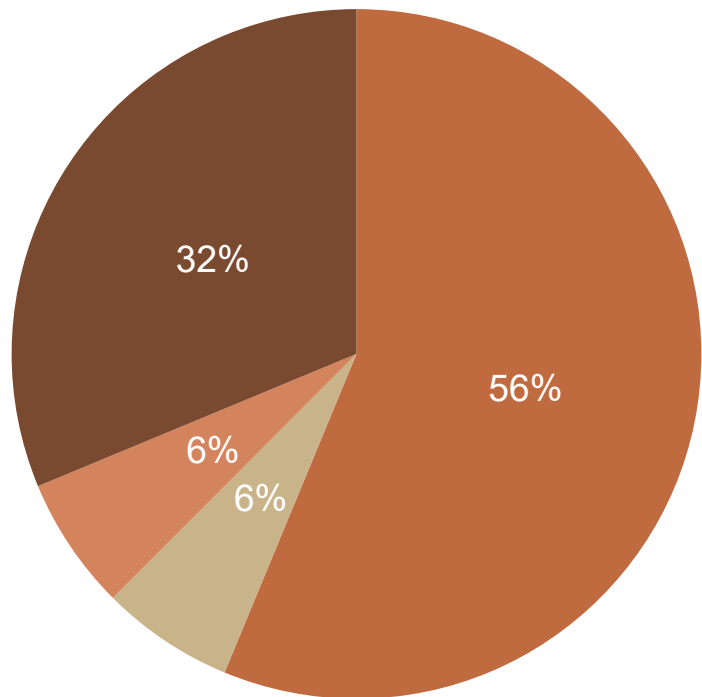
△ 運営面の改善提案

時間の確保・記述用バインダーの設置など具体的な要望あり。

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



参加者の属性（ご自身のお立場を教えてください）



■ 保育・幼稚園職員 ■ 教育・研究関係 ■ 行政職員 ■ その他

保育・幼稚園職員

56%

9名

行政職員

6%

1名

教育・研究関係

6%

1名

その他

32%

5名

キックオフシンポジウム参加者アンケート結果



☑ 高い満足度と学習効果

総合満足度75%・基調講演参考度88%・理解深化81%と、参加者の知識・意識変化に高い効果を発揮した。

☑ 連携意識の醸成

地域連携の重要性を感じた参加者75%（否定0名）。中核機能への肯定的認識も75%（否定0名）。

△ パネルディスカッションの改善余地

テーマに沿った活発な意見交換を求める声あり。議論の構造化や時間配分の見直しが有効。

💡 次年度への示唆

教育委員会・小学校等、多様な関係者の参画と、記述環境の整備（バインダー等）が期待されている。